

Doc. No.: NR080421

2008年4月21日

ニールピーター社製コンビネーション印刷機を公開 ～高付加価値印刷ビジネスに本格参入～

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:橋本 正博)のグループ会社・株式会社メディアテクノロジー ジャパン(本社:東京都千代田区/社長:雨森 章)はこのほど、ナローウェブ業界の世界トップメーカー、ニールピーター社(本社:デンマーク/社長:Lars Eriksen氏)製コンビネーション印刷[※]機を、大日本スクリーン本社内の展示ホールに設置し、4月21日から顧客向けに公開します。

欧米では数年前より、クライアントからの印刷品質に対する要求の高まりとともに、高付加価値印刷によって消費者の購買動機を起こすマーケティング・ツールとして、コンビネーション印刷機が普及してきています。そのような動向に対応するため当社では、2007年にニールピーター社との間で日本国内における総代理店契約を締結し、同社の最新鋭コンビネーション高付加価値印刷機の販売を開始しています。

また最近では、原油価格高騰の影響を受け、原材料価格への転嫁に悩む印刷業界において、サーボ技術を最大限に駆使して損紙や予備紙を大幅に削減できる同社の印刷機が注目を集めており、昨年9月にベルギーで開催された「ラベルエキスポ2007展」においてニールピーター社は、4日間の会期中に印刷機メーカーとしては最多となる47台を受注。現在、納期が受注後1年近くかかる活況が続いています。

今後、日本国内でも欧米と同様にコンビネーション印刷機の導入が急速に拡大すると予想されており、このような市場変革に対応するため当社は、ニールピーター社の最新鋭モデルのFA-4(8色機)のデモンストレーションを実施し、版替えの速さ、材料ロスの少なさ、操作に工具を一切使わないイージーオペレーションを紹介します。

これを機に当社は、大日本スクリーンが製造する各種インクジェット印刷機にニールピーター社製印刷機を加え、POD(プリント・オン・デマンド)市場向けの商品群を充実させ、さまざまな顧客ニーズに対応していきます。

※ コンビネーション印刷

オフセット、フレキソ、グラビア、シルクスクリーン、コールド/ホットフォイル、デジタル、ダイカットなど複数の印刷方式、アプリケーションを、One-Passで印刷、加工する方式。最新モデルのMO-4は、オフセット印刷ユニットもスリーブ交換方式を実現し、これまでのカセット方式よりもさらに効率的なジョブ交換を実現しています。